

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 保健体育課
 担当名: 健康教育・学校安全担当
 内線: 6963 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B59	学校環境衛生対策費			一般会計	教育費	保健体育費	学校保健連絡調整費	学校環境整備推進費	
事業期間	平成 9年度～	根拠法令	学校保健安全法 建築物における衛生的環境の確保に関する法律			戦略項目 分野施策	020104 質の高い学校教育の推進		
1 事業概要			5 事業説明						
学校施設に起因する化学物質等による児童生徒及び教職員の健康を守るため、学校環境衛生の維持管理に必要な対策を講じる。 (1) レジオネラ菌対策 △152千円 節約等に伴う減 (2) 建築物環境衛生管理技術者の養成 △380千円 技術者資格の取得を希望する職員がいなかったことに伴う減 (4) 建築物環境衛生管理技術者の委託 △1,005千円 節約等に伴う減			(1) 事業内容 ア レジオネラ菌対策 707千円 県立学校の児童生徒等のレジオネラ菌感染による健康被害(肺炎)を防止するため、レジオネラ菌が繁殖する冷却塔(クーリングタワー)の冷却水の適正な水質管理を行う。 イ 建築物環境衛生管理技術者(以下、「技術者」という)の養成 127千円 「特定建築物」である学校等を管理する技術者を職員の中で養成する。 ウ 建築物環境衛生管理技術者の管理指導 138千円 「特定建築物」である学校等の衛生的な環境の確保を図る(対象施設:79施設)。 エ 建築物環境衛生管理技術者の委託 45,624千円 79施設のうち、技術者である県職員を配置できない施設について、技術者の配置等を委託により実施する。 (2) 事業計画 ア 冷却塔(クーリングタワー)の冷却水の水質管理及びレジオネラ菌検査を行う。 イ 技術者の養成を行う。 ウ 技術者が兼務している施設へ出張し当該施設の衛生管理及び指導を行う(1施設あたり年2回)。 エ 技術者である県職員を配置できない施設について、技術者を委託等により配置する。 (3) 事業効果 ア クーリングタワーを循環する水にレジオネラ菌が発生しないように塩素消毒をすることにより、レジオネラ菌による感染症患者の発生を未然に防ぐ。 イ 学校事務職員のうち、この技術者になってよいと希望した職員に対して(公財)日本建築衛生管理教育センターが実施する建築物衛生管理技術者講習会を受講し、技術者を養成する。 ウ 該当する特定建築物の衛生管理が充実される。 (4) 補正予算の概要 (1) レジオネラ菌対策 節約等に伴う減 (2) 建築物環境衛生管理技術者の養成 技術者資格の取得を希望する職員がいなかったことに伴う減 (4) 建築物環境衛生管理技術者の委託 節約等に伴う減						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.1人=950千円									
			財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,537							△1,537	9,715
現計額	11,252							11,252	